

入会のご案内



特定非営利活動法人 こだま

どんな人でも誰かに支えられて生きていくものです。

住み慣れた地域の中で、援助を必要とするあらゆる方々が寄り合える場を創り出すことをまず第一に考えました。あらゆるということは、枠がないということです。制度の中では高齢者も介護保険の要介護認定を受けた方と該当しなかった方という枠がはめられます。ですから非該当のまだ元気な高齢者の方も介護保険で要支援・要介護と言われた方も一緒に寄り合えたら、一人一人が影響を与えながら生き生きとした時が過ごせると思うのです。

又、身体障害や知的障害のある大人も子どもも近くに寄り合う場があれば少しでも多くの人と触れ合いたいと感じているはずです。「おじいちゃんやおばあちゃん」が一緒だったら、もっとやさしい時間になるはずです。このような介護を必要とする方々を在宅で支える家族に対して少しでも手代わりとなって応援する活動をすることで、家族の介護負担を軽減して、在宅介護をできる限り継続していけるように、そして、介護を必要とする方々がその人らしい暮らしを継続していけることが第二の目的です。

介護保険の短期入所生活介護の受け入れが一杯の状況の中で、急の外出に困っている家族の声も聞かれます。困り事に対して少しでも手伝える事が私たちの願いです。少し関係のできている方であれば、急の宿泊を受け入れます。そして介護に従事する職種にある方々の質の向上、研修活動で介護を受ける方々や介護者を支えます。

これらの活動の拠点として木々に囲まれた地域に古くから建ち続けてきた民家を利用することになりました。部屋に座って居るだけで、庭を歩いて居るだけで穏やかなやさしい気持ちになれるのは何故でしょう。明治の時代、職人さんが土間に寝泊りして何年もかけて建てたという家は只、建物として存在するだけでなく何か人格を備えているような不思議な存在でもあるのです。家主さんの想いをいただき、朽ち果てるのを待つのではなく、現在と未来に生きる私たちの豊かなふるさととしていくための活動を行って行きたいと考えています。ひとりひとりの出来る事を重ね、一緒に活動していただきませんか。